

道徳科は各学校の育てたい児童の姿や実態によって重点が異なり、複数時間扱う内容項目が違います。つまり、教科書の順序通り進めたり、教科書のみを扱って指導したりしていくことは道徳科のねらうところではありません。また、他の教育活動等とのつながりが示されている別葉の見直しも、学校ごとに違ふと考えられます。

そのようなわけで、道徳教育研究会としては再編した年間計画を例示することは難しいと考えます。そこで、以下に、再編成する際の基本的な考え方をお示しいたします。

【再編成に向けた基本的な考え方】

①抑えるべき内容項目は、すべて扱うこと

- ・各学年で指導することになっている内容項目（低学年は 19 項目、中学年は 20 項目、高学年は 22 項目）についてはすべて取り上げることが大切です。

②各学校で育成を目指す資質・能力に合わせて重点化を図ること

- ・各学校で育成を目指す資質・能力や道徳教育全体計画構想図に示した重点内容項目に沿って、複数時間扱う内容項目を再度確認し、年間標準時数 35 時間（1 年生は 34 時間）に出来るだけ近づける。

③内容項目の配列の見直しをすること

- ・行事等の入れ替えに合わせて、関連する内容項目を入れ替える必要があります。他の教育活動等とのつながりが示されている別葉の見直しをはかり、それに合わせて、年間指導計画の配列も見直します。

- e x) 4 月のあいさつ運動 (B 礼儀) ⇒ 6 月の学校再開後に移動
5 月運動会 (B 友情、信頼) ⇒ 10 月の運動会に合わせて移動
6 月体験学習 (A 善悪の判断、自律、自由と責任)
⇒ 12 月の体験学習に合わせて移動
12 月体育の短縄跳び (A 希望と勇気、努力と強い意志)
⇒ 体育の単元の入替えに合わせて 6 月に移動 等

【短時間授業での学習例】

その代わりといっは何ですが、4 5 分使わずに道徳科の学習をするにはどのような方法が考えられるか、例示したいと思います。

これは、あくまでも一例に過ぎません。今年度の市道徳研では、今のような状況下でもどのようにしてより主体的な学びができるか、多面的・多角的な学びとするために、意見交流をどのように進めるかという研究を深め、また発信していきたいと考えています。

どうぞよろしく願いいたします。

展開	授 業 の 内 容	短縮のポイント
導入	<p>《今の自分の姿を振り返る》</p> <p>まず、その時間につかませたい価値がなかなか実現できていない自分の姿をじっくり考えさせます。学校で5分ほど扱って、続きは家庭学習でやってきます。</p> <p>○挨拶はした方がいいことはわかっているけれどできないのはなぜか。</p> <p>挨拶はされたらしているけれど、自分からはしていない。それはどうしてか。</p> <p>挨拶はいつも自分からするようにしている。どうしてしているのか。</p>	<p>学校 5 分</p> <p>★続きを家庭学習で</p>
展開前段	<p>《学習課題の明確化》※</p> <p>それぞれの振り返りを共有し今の自分に身につくとよいと思う考えを見つけます。</p> <p>○挨拶を自分からできるようになるには、どんな考えが大切だろう。</p> <p>今よりももっと気持ちよく挨拶ができるようになるにはどんな考えがあればいいのだろう。</p>	
	<p>《教材からつかむ》※</p> <p>教材を読み、価値を実現できている登場人物の考え方を探り合い、今の自分にはなかったより高い価値を見つけ出します。</p> <p>○挨拶を自分からすると、気持ちがよくなる。周りの人にも認めてもらえる。知らない人とも心が通じ合う。</p>	<p>★長い教材文の時は、事前に家庭学習で読んでくる。</p>
展開後段	<p>《つかんだ価値と自分とを照らし合わせる》</p> <p>教材からまとめたより価値の高い考え方が自分にはあったのか、自分の行動や考え方を具体的に思い出しながら振り返らせます。カード等への記入は家庭学習でも行えます。</p> <p>○友達の家に行ったとき、友達のお母さんにはきはきと挨拶したけど、あとで、お母さんに褒めてもらえた。僕が行儀がいいと、お母さんもうれしいみたいだった。褒められて自分もうれしかったし、友達のお母さんにもまた会いたい気持ちになった。自然とやっていたけど、そういうことだったんだ。</p>	<p>★カードへの記入は家庭学習で</p>
終末	<p>《一人一人が振り返ったことを共有する》※</p> <p>発言や振り返りの掲示、ICT の利用などを工夫して、各自が振り返ったことを共有し、さらに考えたこと、思ったことなどを発言したり、書いたりして思いを広げ、深めます。</p> <p>○A さんが言ったことと同じようなことが私にもあった。私は少し恥ずかしくて、うつむいたまま挨拶してしまったけど、顔を見てきちんと挨拶できたらよかったのかな。</p>	
	<p>《実現への意欲付け》※</p> <p>より高い価値を持った行動がしたくなるように、実現している児童を紹介したり、教師の体験談などを話したりし、温かい雰囲気を残すようにします。</p> <p>○先生が子どもの頃、隣の家の人に挨拶することがなかなかできないでいたことがあったが、ゴミ捨てに行ったときに声をかけられてから挨拶するようになって、そうしたらそれからよく話をするようになり、実は今でも交流がある。</p>	

※印の部分は、学校で一緒に取組むとよい。

※印 4 つ合わせて目安 30 分